

1 日本ハリストス正教会教団 復活大聖堂 (ニコライ堂)

地図A-2

明治時代以来の神田駿河台のランドマーク。
所在地 千代田区神田駿河台 四丁目1番地3
国指定重要文化財(建造物)

66 湯島聖堂

地図B-1

江戸時代から、孔子をまつてきた施設。JR御茶ノ水駅付近のランドマーク。
所在地 文京区湯島一丁目
国指定史跡

32 いせ源本館

地図B-2

「あんこう料理」、入母屋造りと2階欄干の菱形模様の影りが特徴。
建設年 昭和7(1932)年
設計者 不詳
所在地 千代田区神田須田町一丁目11番地1

33 神田まつや

地図B-2

「そば」、出入り口の上部に松模様の欄間飾りを施してある。
建設年 大正14(1935)年
設計者 不詳
所在地 千代田区神田須田町一丁目13番地

34 ぼたん

地図B-2

「鳥のすきやき」、建設当時の界わいの雰囲気をよく伝えている。
建設年 昭和4(1929)年
設計者 不詳
所在地 千代田区神田須田町一丁目15番地

35 竹むら

地図B-2

「汁粉」、入母屋造りで2階の欄干に竹と梅模様が彫られている。
建設年 昭和5(1930)年
設計者 不詳
所在地 千代田区神田須田町一丁目19番地2

凡		例	
●	区役所	Ⓜ	病院
⊗	警察署	Ⓜ	文学学校
Ⓜ	消防署	Ⓜ	国道番号
Ⓜ	郵便局	Ⓜ	都道番号
Ⓜ	神社	Ⓜ	交差点
Ⓜ	寺院	Ⓜ	鉄道(地上)
Ⓜ	墓地	Ⓜ	鉄道(地下)
Ⓜ	博物館		



神田駿河台(湯島聖堂から)



神田川下流(聖橋から)



旧連雀町付近(神田須田町一丁目)

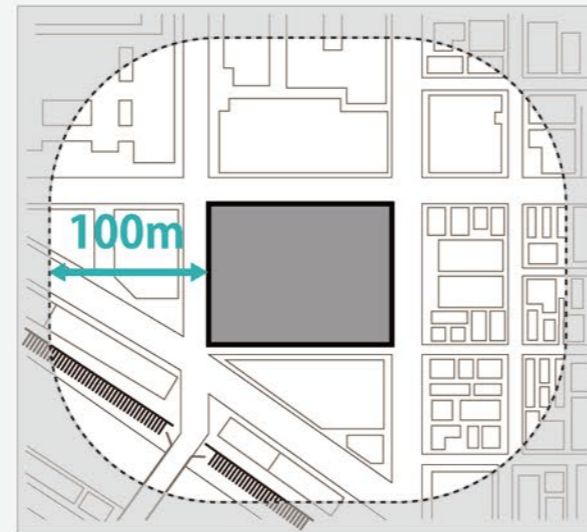


須田町交差点付近

歴史的な資源を生かした景観づくり

建物の素材や色彩、デザインなどにより、街並みや周囲の景観は大きく影響します。歴史的な建物等の周辺の景観を守り、育てるために、東京都では「歴史的景観保全の指針」を定めています。指針を適用する範囲内で建築行為などを行う際は、景観への配慮をお願いします。

指針を適用する範囲の考え方



- 対象物**
 - 東京都選定歴史的建造物
 - 特に景観上重要な歴史的建造物等(建造物や公園など)
- 指針を適用する範囲**
(対象物から100mの範囲)

印刷物規格表 第 4 類
印刷番号 (30) 85

東京都選定歴史的建造物と
特に景観上重要な歴史的建造物等
神田須田町一丁目エリア

平成 31 年 3 月 発行

編集・発行 東京都都市整備局都市づくり政策部
緑地景観課
新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号
電話番号 (03) 5388-3359

印刷 北海道地図株式会社



東京都選定歴史的建造物と
特に景観上重要な歴史的建造物等

神田須田町 一丁目 エリア



「名所江戸百景」 「筋違内八ツ小路」
歌川広重(1世) 1857年
都立中央図書館特別文庫室所蔵



須田町万世駅附近雑沓
出版者不明 1930年?
東京都立中央図書館所蔵

神田川と神田須田町一丁目の歴史と街並み

神田川は、江戸時代の初め、幕府が行った神田山(神田台、駿河台)の開削などにより造られました。神田須田町一丁目は、神田山を下った所にある、神田川沿いにあります。

江戸時代、現在の神田須田町一丁目付近には、中山道と上野の東叡山寛永寺への「御成道」の交差点(いわゆる「八ツ小路」「八辻が原」)がありました。「八ツ小路」付近は、神田多町二丁目や連雀町(現在の神田須田町一丁目外)など複数の町に及ぶ地域に、水陸両路から運ばれた青物等を扱う問屋が集中し、幕府の御用市場とされました。

明治時代になってからも、「八ツ小路」付近は交通量が多く、また青物市場は存続しました。明治36(1903)年、神田川に新しい万世橋が架かり、路面電車がまもなく開通した後は、橋畔の須田町交差点(「八ツ小路」の一部)は乗換の乗降客で賑わいました。須田町交差点には、明治43(1910)年に東京の代表的モニュメントの一つになった広瀬中佐の銅像が建ち、明治45(1912)年に万世橋駅が開業しました。

大正12(1923)年、神田地域一帯は関東大震災により大きな被害を受け、青物市場は焼失しました。帝都復興事業が行われた結果、須田町交差点は南へ移動し、青物市場は現在の秋葉原に建設された東京市の市設市場に移転しました。昭和18(1943)年、万世橋駅は営業を休止し、昭和22(1947)年には広瀬中佐の銅像が撤去されました。

現在の神田須田町一丁目は、様々な規模の商業・業務系の建物が建ち並ぶ一方、お昼時に飲食店を利用するサラリーマンが多く行き交うなど、落ち着きと活力の混ざり合う街並みになっています。

神田須田町一丁目エリアの歴史的建造物等

神田須田町一丁目付近には、関東大震災後の帝都復興事業を経た街並みの中に、昭和初期に建てられた老舗飲食店の歴史的建造物が残されています。

東京都では、歴史的建造物のうち景観上重要なものについて「東京都選定歴史的建造物」として選定し、文化財や公園などを「特に景観上重要な歴史的建造物等」に定めています。

<参考文献>

- 新編 千代田区史 通史編(東京都千代田区)
- 文京区史 巻一・巻二・巻三(文京区役所)
- 台東区の歴史 ジュニア版(東京都台東区教育委員会)
- 東京都中央卸売市場史 上・下巻(東京都、東京都中央卸売市場)
- 東京都交通局100年史(東京都交通局)
- 都史紀要33 東京馬車鉄道(東京都)
- 都史紀要39 レファレンスの社(東京都公文書館、東京都生活文化局広報広聴部広聴管理課)
- 復刻版 日本国有鉄道百年史 別巻 国鉄歴史事典(日本国有鉄道、成山堂書店)



この地図は、国土地理院長の承認（平 24 関公第 269 号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2, 500）を使用（31 都市基交第 794 号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。